

病院設置条例の改正について

1. 背景等

- ・周産期医療を提供することは公立病院に期待されている機能の一つであり、当院においても今後も継続して安定的に供給していく必要があります。
- ・分べんに係る費用のうち、分べん介助料と新生児介補料は大和市病院事業の設置等に関する条例（以下「条例」という。）で金額を定めており、「分べん介助料」は平成22年度以降、「新生児介補料」については平成5年度以降、改定が行われておりませんが、分べんに係る人件費や光熱水費は上昇傾向にあり、分べんに係る費用に適切に反映させる必要があります。
- ・また、近年、出産方法の多様化が進む中、全国の分べんを行う医療機関のうち無痛分べんの対応施設は約30%に達し、全分べんのうち無痛分べんの割合は約10%に達するなど、妊婦の無痛分べん選択率は高まっています。
- ・当院においても無痛分べんを選択できるよう、令和6年4月1日から導入する予定であり、費用について適切な負担を求める必要があります。

2. 分べん介助料等の改定について

(1) 基本的な考え方

- ・出産（分べん）は病気ではないことから公的医療保険の対象外となっており、医療機関が独自に算定し産婦等に請求することになります。
- ・内訳としては条例で定める分べん介助料（分べんに立ち会う医師・助産師の技術料や産婦の看護、介助に係る費用）や新生児介補料（新生児の管理や保育に係る費用）のほか、診療報酬に準拠した費用（入院料、処置料、検査料等）、実費負担分（衛生材料や※産科医療補償制度の掛金等）で構成され、当院の標準的な分べんに係るこれら費用の総額は令和5年度時点で463,000円となっています（全国平均511,652円）。
- ・このうち、診療報酬に準拠した費用と実費負担分については、診療報酬の改定や実勢価格の推移に基づいた算定が為されている一方で、使用料の分べん介助料及び新生児介補料については前回改定から10年以上経過していることから、今回改定により、光熱水費や人件費等の上昇分を適切に反映させる必要があります。

※産科医療補償制度：分べんに関連して発症した重度脳性まひの子どもと家族の経済的負担を補償する制度で、認定されると保険金が支払われる。運営は公益財団法人日本医療機能評価機構。

【当院の標準的な出産費用内訳の推移（市内）】

項目	平成22年度	令和5年度	増加率
診療報酬に準拠した費用			
入院料等	218,000円	280,000円	30.2%
検査料等	20,000円	25,000円	25.0%
処置料等	12,000円	15,000円	25.0%
実費負担分			
産科医療補償制度掛金	30,000円	12,000円	▲60.0%
衛生材料等	20,000円	26,000円	30.0%
使用料（条例で規定）			
分べん介助料	80,000円	80,000円	—
新生児介補料	25,000円	25,000円	—
総額	405,000円	463,000円	14.3%

（２）改定内容（案）

・分べん介助料

市内居住者 旧 80,000円 → 新100,000円

市外居住者 旧120,000円 → 新150,000円

・新生児介補料 旧 5,000円 → 新 6,250円

- ・積算に当たっては、分べん介助料及び新生児介補料のいずれも、診療報酬で定めが無いため、診療報酬上の分べんに係る技術料（吸引摘出術や帝王切開術など）の上昇率（約20%）をベースに、助産師の person 費の上昇率（約6%）、光熱水費などの経費の上昇率（約30%）を勘案し、25%の増の金額としました。また、新生児介補料も同様に、25%増としました。

【診療報酬上の分べんに係る技術料の増加率】

	保険点数（点）		増加率
	平成22年	令和5年	
吸引娩出術	2,080	2,550	23%
鉗子娩出術			
1. 低位（出口）鉗子	2,080	2,700	30%
2. 中位鉗子	3,660	4,760	30%
帝王切開術			
1. 緊急帝王切開術	19,340	22,200	15%
2. 選択帝王切開術	19,340	20,140	4%
平均増加率			20.4%

【分べんに係る助産師の人的費】

単価		総額（約8時間）		増加率
平成22年度	令和5年度	平成22年度	令和5年度	
2,490円	2,626円	19,298円	20,352円	5.5%

【分べんに係る光熱水費（1件当たり）】

分べん室		陣痛室		計		増加率
平成22年度	令和4年度	平成22年度	令和4年度	平成22年度	令和4年度	
615円	822円	662円	885円	1,277円	1,707円	33.7%

（3）料金改定に伴う市内居住者の標準的な出産費用総額の比較

旧463,000円 → 新489,250円
 （全国平均 511,652円）

（4）収入増見込額

- 令和4年度の実績ベース（分べん件数約400件）で試算しますと、分べん介助料は約1,130万円の収入増、新生児介補料は約220万円の収入増を見込みます。

3. 無痛分べん加算料の新設について

（1）基本的な考え方

- 無痛分べんは分べんを行う際のオプションとして実施するものです。陣痛や分べんの痛みを軽減させるために硬膜外麻酔を使用し、母体や胎児の状況を見極めながら進めていくため、麻酔の導入に際しては麻酔科医師が加わるほか、分べんの間は産科医師や助産師が掛かりきりとなって徹底した安全管理を行います。このため、標準的な出産費用のほかに、麻酔に係る経費や医師・助産師の人的費等が必要になります。

（2）改定内容（案）

- 無痛分べん加算料 新150,000円
- 金額の設定については、麻酔手技料、薬剤費、入院料等のほか、医師や助産師の人的費等を勘案し積算しました。

【無痛分べんに係る費用】

項目	詳細	数量	時間等	費用
人件費	産科医師	1.5人	約11時間	81,615円
	助産師	1人	約11時間	24,654円
	麻酔科医師	1人	約2時間	8,248円
硬膜外 麻酔	技術料	—	診療報酬に準拠	12,000円
薬剤	硬膜外穿刺時	—		542円
	無痛分娩時	—		2,202円
	血圧低下時	—		156円
入院料	前泊分	—	標準負担額に準拠	24,750円
食事代		—		460円
合計				154,627円

(3) 収入見込額

- ・全国的な分べん件数の約10%を無痛分べんが占めていることを踏まえ、当院の実績の約10%が無痛分べんとなることを想定し、無痛分べん加算料として約600万円の収入増を見込みます。

※なお、分べん介助料等の料金改正に伴う収入増額、及び無痛分べん加算料の新設に伴う収入見込み額の合計は1,950万円になります。

※また、無痛分べんの導入により分べんに係る妊婦の選択肢が増え、分べん件数が1割増加した場合は、分べん介助料、新生児介補料、無痛分べん加算を含め、約2,620万円の収入増が見込まれます。

4. 周知等

- ・分べん介助料等は令和6年7月に改定とし、公布後6月までの間は市民等への周知期間とします。
- ・無痛分べん加算料は令和6年4月に新設とし、公布後速やかに市民等へ周知を行います。

5. 今後の予定

- 令和5年 11月 9日 庁議事前調整
- 11月20日 行政経営会議
- 11月下旬 議案提出
- 12月下旬～1月中旬 病院運営審議会
- 令和6年 2月19日 議会運営委員会
- 3月 1日 厚生常任委員会
- 3月28日 条例公布
- 4月 1日 無痛分べん加算料について新設
- 7月 1日 分べん介助料等について改定

【各医療機関等の状況】

・分べん介助料、新生児介補料

	平均出産		平均入院 日数	最終改定	
	費用総額	うち分べん介助料			うち新生児介補料
大和市立病院（改定前）	463,000 円	80,000 円	5,000 円	6 日間	H22
（改定後）	489,250 円	100,000 円	6,250 円	6 日間	
全国の病院の平均値	511,652 円	231,318 円	6,335 円	7 日間	—
神奈川県に分べん施設の平均値	564,174 円	—	—		—
県立こども医療センター	466,338 円	180,000 円	3,909 円		R4
川崎市立川崎病院	524,700 円	120,000 円	3,810 円		
横浜市立市民病院	567,770 円	180,000 円	10,290 円		H30
横浜市立みなと赤十字病院	556,600 円	180,000 円	13,000 円		H30
川崎市多摩病院	474,690 円	120,000 円			R4
横須賀市立市民病院	533,480 円	100,000 円	5,000 円		H22
藤沢市民病院	516,675 円	90,000 円	8,595 円	6 日間	R2
小田原市立病院	572,790 円	66,000 円	6,000 円	7 日間	R2
平塚市民病院	556,000 円	66,000 円	6,000 円		R4
茅ヶ崎市立病院	519,500 円	80,000 円	4,000 円	7 日間	H26
厚木市立病院	470,000 円	80,000 円	4,000 円	6 日間	H26

・無痛分べん加算料

医療機関名	
国際親善総合病院	150,000 円
横浜総合病院	200,000 円
北里大学病院	150,000 円
海老名総合病院	150,000 円
昭和大学横浜市北部病院	150,000 円
川崎市立川崎病院	100,000 円
町田市民病院	84,000 円
厚木市立病院	70,000 円
愛育病院	150,000 円／日